

# KIKAIYA

## TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

### バイクリフト エアーシリンダー式

# 取扱説明書

【品番】BL-8

この度は「バイクリフト エアーシリンダー式(BL-8)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

\* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

\* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



**コバヤシデンソー株式会社**

〒729-0112 広島県福山市神村町字仁五下 4757-1

(M A I L) info@kikaiya.com

## ■はじめに

---

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。  
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
  
- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■製品使用上のご注意

---



### 警告

誤った方法で使用する『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される』内容

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 最大荷重は 450kg です。この荷重を超えないでください。
- エアー接続時は最大空気圧 0.68Mpi を超えないでください。
- 作業エリアに子供や関係者以外の人を近づけないでください。
- 装飾品は外し、作業に適した服装(作業着・手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- リフトの昇降操作中は 1M ほど離れ、可動部には常に手足を近づけないでください。
- 乾燥し、滑りにくく、しっかりとした硬い水平な場所に設置してご使用ください
- 清潔で整頓され、無関係な物がなく、十分な照明で作業してください。
- バイクを持ち上げる前に、バイクがバイスによって完全に支えられていることを確認してください。
- バイクの後輪をスロープに乗せたり、スロープを使ってバイクを支えたりしないでください。
- スロープは最低位で使用し、バイクを天板に押し上げるための補助としてのみ使用してください。
- バイクに乗ってリフトに乗らないでください。
- リフトを下げる前に、リフトの下に障害物がなく、人が周囲にいないことを確認してください。
- リフトを下げる間は、常に安全バーを所定の位置で保ってください。
- 移動中は、リフトを下げた状態にしてください。リフトで荷物を運ばないでください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。
- 疲労しているとき、アルコール・薬物の影響下にあるときは、リフトを操作しないでください。
- 訓練を受けていない人にリフトを操作させないでください。
- 屋内での使用のみを推奨します。リフトを雨、雪、または過度の湿気にさらさないでください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。

## ■製品仕様

重量	約 145kg
耐荷重	450kg
天板	サイズ: 2000×610mm+スロープ長さ 550mm 高さ: 200~860mm 使用高: 約 755、720、670、620、550mm(5段階)
キャスター	本体: φ89×幅 38mm
エア接続口	1/4 インチ-オスカプラ
使用空気圧	0.62~0.68Mpa
梱包箱サイズ	2110×685×275mm(梱包重量 156kg)

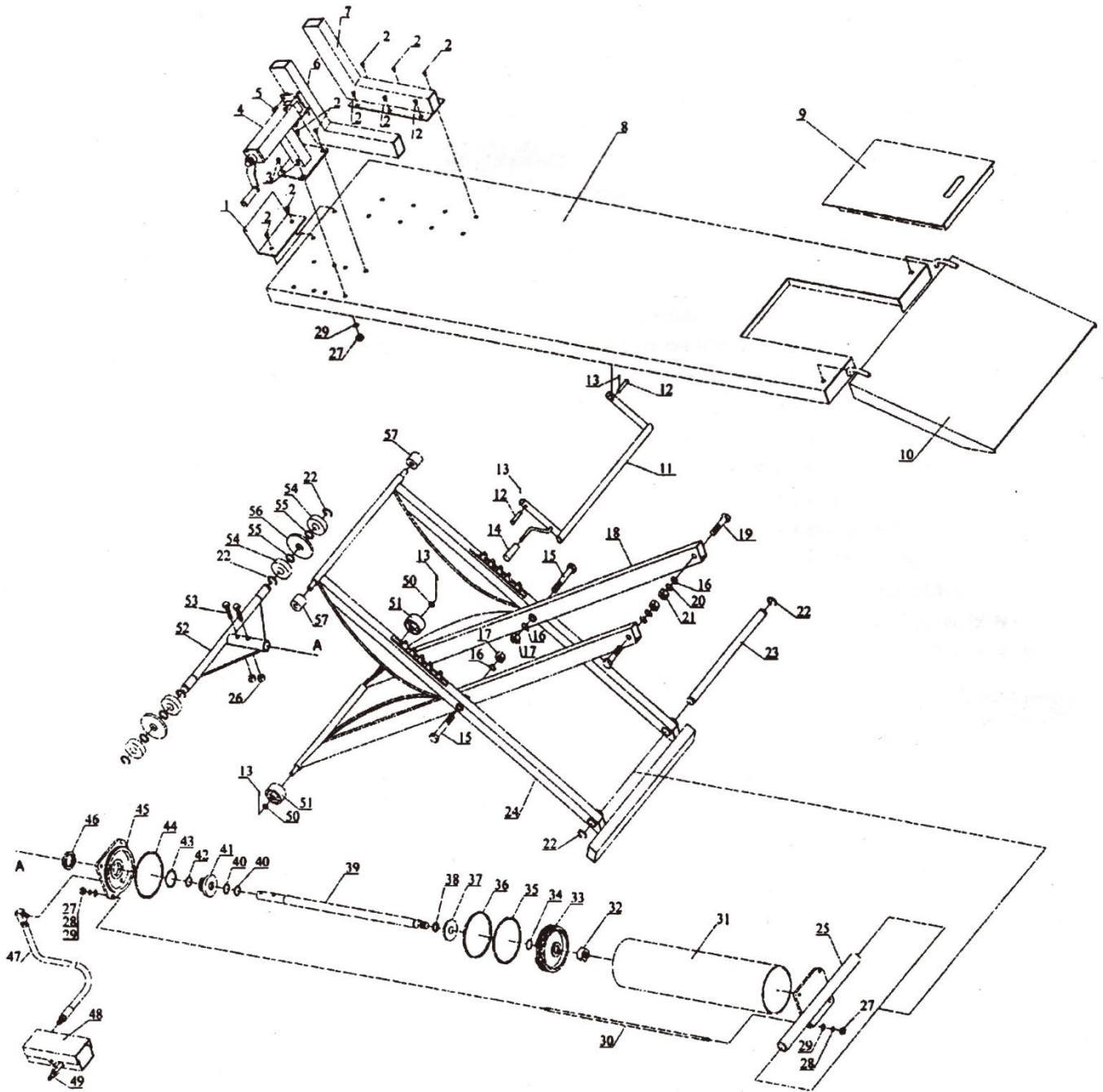
※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

## ■製品説明

- フットバルブでハンズフリー操作できる、エア式バイクリフトです
- エアコンプレッサーに繋いで、バルブを踏むだけの簡単操作
- 空気圧式なので油漏れの心配もなく、床をきれいに保てます
- 2000×610mm の大きな天板で作業もしやすく、スロープでバイクも載せやすい
- 天板は安全バーで降下防止でき、使用高さを 5 段階で変更可能
- エアで最大 450kg をリフトアップします
- タイヤはバイスで固定でき、8mm 厚の滑り止めゴムが付いています
- キャスターがついたハンドルで移動も楽にできます



# ■ パーツリスト・パーツ名称



No	パーツ名称	個数	No	パーツ名称	個数
1	落下防止プレート	1	30	ステーボルト	4
2	ボルト M10x20	10	31	シリンダー	1
3	ボルト M10x25	2	32	ナット M20	1
4	タイヤ幅調整ハンドル	1	33	ピストン	1
5	ボルト M8x12	4	34	Oリング	1
6	可動タイヤバイス	1	35	Oリング	1
7	固定タイヤバイス	1	36	シールリング	1
8	天板	1	37	プレスリング	1
9	取り外し可能プレート	1	38	止め輪	1
10	スロープ	1	39	ピストンロッド	1
11	安全バー	1	40	Oリング	2
12	クレビスピン	2	41	シャフトブッシング	1
13	Rピン	4	42	防塵リング	1
14	ハンドルカバー	1	43	Oリング	1
15	ボルト M16x100	2	44	Oリング	1
16	ワッシャーΦ16	4	45	フロントカバー	1
17	ロックナット M16	2	46	ナット	1
18	リフティングアーム	1	47	エアホース	1
19	ボルト M16x70	2	48	フットバルブ	1
20	ロックワッシャー	2	49	エアホースコネクタ	1
21	ナット M16	2	50	ワッシャー012	2
22	止め輪	6	51	ホイール	2
23	フレーム/シリンダーシャフト	1	52	接続部	1
24	リフティングアーム	1	53	ボルト M10x45	2
25	シリンダーエンドプレート	1	54	ロックナット M10	4
26	ロックナット M10	2	55	ナット M10	4
27	ナット M10	20	56	カムローラーベアリング	2
28	ロックワッシャー Φ10	6	57	ローラー	2
29	ワッシャー Φ10	20			

※(2)が8個、(3)が4個の場合があります。

## ■組み立て手順 ※17mm スパナが必要です

- ① スロープ(10)を天板(8)の端に取り付けます。
- ② 取り外し可能プレート(9)を天板(8)に取り付け、後開口部を覆います。
- ③ ボルト M10×20(2)、ボルト M10×25(3)、ワッシャーΦ10(29)、ナット M10(27)を使用して、落下防止プレート(1)と、タイヤバイス(6、7)を天板の前部に取り付けます。(前後選べます)  
**※ボルト M10×20(2)が 8 個、ボルト M10×25(3)が 4 個の場合は、ボルト M10×25(3)で可動タイヤバイス(6)を取り付けてください。**
- ④ ハンドルカバー(14)を安全バー(11)に取り付けます。
- ⑤ フットバルブ(48)を最大 0.68Mpa の空気供給に接続します。

## ■使用方法 ※バイクは天板中央に置き、しっかりと固定してください

### ※ご使用前の確認

1. 4本のステーボルト(30)がしっかりと締まっていることを確認してください。
  2. クレビスピン(12)が安全バー(11)に固定されていることを確認してください。
  3. 車輪(51)が所定の位置に収まっていることを確認してください。
  4. リフトの設置面が堅固で平坦(コンクリートが望ましい)であることを確認してください。
- ① バイクをスロープの上まで押し上げ、天板に乗せます。
  - ② バイクが動かないように、前輪をバイスで固定します。
  - ③ バイクをロープなどを使い天板にしっかりと固定します。
  - ④ リフトから 1M 離れた場所に立ち、フットバルブの上側(UP)を踏み、リフトを約 20cm 上げ、フットバルブを水平(ニュートラル)にして上昇を止めます。
  - ⑤ 安全バーをロック位置から降ろします。
  - ⑥ フットバルブの上側(UP)を踏み、リフトを所定の高さまで上昇させたら、安全バーが対応するスロットに収まっているか確認してください。
  - ⑦ 作業が完了したら、フットバルブの上側(UP)を踏み、リフトを少し上げます。
  - ⑧ 安全バーを天板下にロックし、フットバルブの下側(DOWN)を踏んでリフトを下げます。



## ■リフト移動時

- リフティングアーム(24)についているフックに、付属ハンドルの穴を差し込んで浮かせませす  
※移動時はスロープを外し、リフトを最下位まで下げてから移動してください。

## ■メンテナンス・保管について

- 清潔で乾燥した空気のみを使用してください。
- 不使用时は、お子様の手の届かない、水気がなく乾燥した場所に最低位で保管してください。
- 清潔に保ち、油やグリースを拭き取ってください。すべての可動部に潤滑油を注油してください。
- 使用する前に毎回すべての部品を点検してください。  
部品に損傷や不具合がある場合は、リフトの使用を中止し、必要な修理措置を講じてください。
- かじりを防ぐため、すべての可動部には毎月潤滑油を注油してください。
- 4本のステーボルト(30)がしっかりと締まっていることを頻繁に点検してください。
- ピストンロッド(39)が乾燥している場合は、少量の作動油(ISO-VG32など)を注油してください。
- ピストン(33)とそのシールには、以下の手順に従って毎月潤滑油を注油してください。
  - ① まず、リフトを完全に上昇させ、安全バー(11)を引き下げてリフトをロックします。
  - ② 次に、フットバルブ(48)を外し、シリンダーのフロントカバー(45)にあるエア抜き穴からシリンダーにオイルを注入します。
- すべてのボルトとネジは、しっかりと締まっていることを頻繁に確認してください。

